

令和 4 年 3 月 23 日（水）

J R 東日本発電取水総合対策市民協議会資料

建設部建設課 克雪利水係

（報告事項）令和 3 年度開催された河川環境に係る協議会等について

（1）令和 4 年 2 月 7 日（月） 第 8 回西大滝ダム下流水環境調査検討会

- ・ 主な内容＝令和 3 年度 西大滝ダム減水区分間モニタリング調査結果

（2）令和 4 年 2 月 7 日（月） 第 34 回信濃川中流域水環境改善検討協議会

- ・ 主な内容＝令和 3 年度 宮中取水ダム減水区分間モニタリング調査結果

【説明 1】第 8 回西大滝ダム下流水環境調査検討会

西大滝ダム減水区分間におけるモニタリング調査内容・結果

- ・ 対象範囲 西大滝ダム下流域
(東京電力 信濃川発電所西大滝ダム～信濃川発電所放水口の間)
- ・ 西大滝ダムでは、河川維持流量として通年 $20\text{m}^3/\text{s}$ を放流

項目	調査内容
サケ遡上状況調査	(調査地点) 西大滝ダム魚道 (調査方法) サケ遡上期 (9/11～11/10) に、魚道にトラップ を仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲

- ・ 令和 3 年度の調査結果 資料 1-1 参照

【説明 2】第 34 回信濃川中流域水環境改善検討協議会

宮中取水ダム減水区分間におけるモニタリング調査内容・結果

- ・ 対象範囲 宮中取水ダム下流域
(J R 東日本信濃川発電所 宮中取水ダムから小千谷発電所放水口)
- ・ 宮中取水ダムでは河川維持流量として通年 $40\text{m}^3/\text{s}$ 以上を放流
- ・ 6 月 1 日～11 月 10 日の間は J R 東日本の自主放流として $60\text{m}^3/\text{s}$ 程度を放流

〔裏面あり〕

- ・ 7月20日～9月10日の間の隔週日曜日に 80 m³/s 程度を放流。また、魚道流入水温 25℃以上、日最高気温 31℃を 2 日連続で観測し、かつ翌日の十日町市の予想最高気温が 31℃を超える場合も 80 m³/s 程度を放流する

項目	調査内容
河川水温調査	(調査地点) 宮中取水ダム（魚道）、十日町橋、栄橋、川井大橋（小千谷） (調査方法) 夏季高水温期（7/26～9/5）に 宮中取水ダム魚道は自動水温計測機により 10 分間隔で水温実測 十日町橋、栄橋、川井大橋は水温回帰モデルを用いて水温を算定
サケ遡上状況調査	(調査地点) 宮中取水ダム魚道 (調査方法) ①サケ遡上期（9/11～11/10）に、魚道にトラップを仕掛け、魚道を遡上するサケを捕獲 ②サケ遡上自動計測装置を設置し計測

- ・ 令和 3 年度の調査結果 資料 1-2 参照

【説明 3】信濃川中流域水環境改善検討協議会の運営方針

- ・ 西大滝ダム下流水環境調査検討会は、西大滝ダム下流に特化した調査検討が終了するため令和 3 年度をもって閉会し、西大滝ダム減水区間については信濃川中流域水環境改善検討協議会で取り扱う。
- ・ 信濃川中流域水環境改善検討協議会は、令和 4 年度以降、5 年毎に行われる「河川水辺の国勢調査（魚類調査）」実施年の開催を基本とし、ほか協議会を開催すべき事案が生じた際に必要に応じて開催となる。
- ・ 河川水辺の国勢調査は令和 4 年度実施のため、次年度中流域協議会は開催される。
- ・ 水温調査、サケ遡上調査は令和 4 年度も継続する。